

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

News Release

2025年6月27日

東日本電信電話株式会社 青森支店

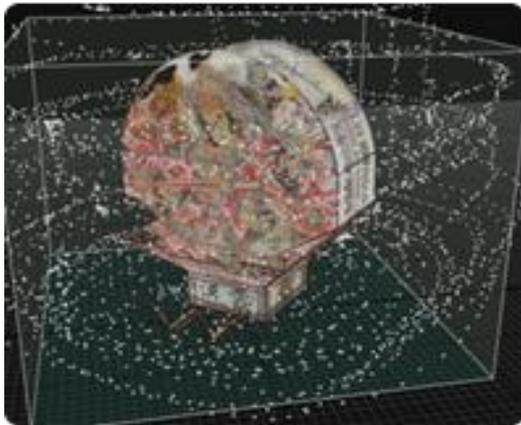
「伝統文化の継承×デジタル教育」をテーマとした実践的な学びを提供

～弘前高校ねぷたの3Dアーカイブ化を支援～

東日本電信電話株式会社 青森支店(支店長:磯崎 崇、以下「NTT東日本」)は、青森県立弘前高等学校にて「伝統文化の継承×デジタル教育」をテーマに、実践的な学び(特別授業)を提供致します。

本授業は、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー(代表取締役社長:池田 敬)の協力のもと、3Dスキャン技術を用いて弘前高校ねぷた(以下「弘高ねぷた」)を生徒が自ら撮影・編集し、デジタルアーカイブ化するノウハウの学習機会を提供することで、今後は、弘前高等学校の生徒主導による伝統文化の継承が可能となるよう、NTT東日本が伴走し支援するものです。

【3Dアーカイブ化イメージ】



1. 取り組みの背景

昨今、高等教育段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成に向けては、令和7年度高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール※)などで、情報・数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともにICTを活用した文理横断的・探求的な学びを強化しております。

また、少子高齢化や都市への人口集中などにより、地域の伝統文化は衰退の危機に直面しており、文化を次世代に継承する手段としてテクノロジーの活用が注目されております。

こうした背景を踏まえ、70年来続く“弘高ねぷた”の魅力・制作ノウハウを次世代に継承する手段として、テクノロジーを活用した実践的な学びの獲得や情報リテラシーの向上に寄与いたします。

※令和7年度 高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/mext_02975.html

2. 授業の目的

生徒が制作した思い入れのある弘高ねぶたを3Dとしてデジタルアーカイブ化するとともに、来年度新たに制作する際の参考資料としても活用することを目的とし、実践を通じた情報リテラシーの向上および生徒主導の伝統文化継承を実現するための一助として実施いたします。

3. 特別授業のスケジュール

(1) 弘高ねぶたの3Dアーカイブ化に向けた事前講義・撮影演習

<実施日> 6月27日(金)

<実施内容> ・生活に親しんだ3Dモデル事例やフォトグラメトリ技術の概要に関する講義
・段ボール等で弘高ねぶたに見立てた被写体を対象に、3D撮影を演習

(2) 弘高ねぶたの3Dスキャン・撮影

<実施日> 7月23日(水)

<実施内容> ・弘高ねぶた1台を対象とした生徒主導による3D撮影の実践

(3) データの編集・3Dアーカイブ化完成

<実施日> 8月～9月予定

<実施内容> ・撮影データを素材に、専用ソフトを活用した「点群化(アライメント)」、「面の接続(メッシュ)」、「色付け(テクスチャリング)」による3D編集の実演

4. 今後の展開

NTT 東日本グループは、テクノロジーを活用した地域文化の保護・継承、および地域 DX 人材の育成支援に継続して取り組むとともに、本取組を契機に新たな教育モデルの創出を目指します。